

10th anniversary

設立10周年

日本ソルフェージュ研究協議会

2008-2018

第10回 研究発表会

日時：2018年 **11月4日**(日) 14:00 開演(13:30 開場)
会場：東京藝術大学 5-109 大講義室



佐々木 睦 Mutsumi SASAKI

桐朋学園大学附属子供のための音楽教室を経て桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。在学中にStudent's concertに選抜出演。同大学研究科修了後、2016年東京音楽大学大学院音楽教育専攻ソルフェージュ研究領域に進学。修了後、現在特別研究学生として東京音楽大学大学院に在籍。

及川音楽事務所第15回最優秀新人賞受賞。第24回グレンツェン・ピアノコンクール指導者賞受賞。

◆ソルフェージュ教育における9の和音・11の和音・13の和音の導入に関する一考察

～ M. ラヴェル作曲〈むなしい願い〉の分析を通して～

近現代作品の読譜や演奏表現に役立てる為の、ソルフェージュ教育における9の和音・11の和音・13の和音の学習についての有用性と、その導入における新たな指導法を提案する。モリス・ラヴェル Maurice Ravel (1875 ~ 1937) の室内歌曲《ステファヌ・マラルメの3つの詩 Trois poèmes de Stéphane Mallarmé》から第2曲 むなしい願い Placet futile の楽曲分析結果の一部と、楽曲分析を反映させて作成したソルフェージュのピアノ伴奏付き視唱課題等の実践例を紹介する。



高濱 絵里子 Eriko TAKAHAMA

埼玉大学教育学部音楽専修卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業、アカンサス音楽賞受賞。

2つの管弦楽作品がそれぞれ指揮＝山下一史、高関健、藝大フィルハーモニア、チェロ独奏＝山澤慧により初演される。

ピアノを横地千鶴子、蛭多令子、田代慎之介の各氏に、作曲を鈴木静哉、小鍛冶邦隆、林達也の各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部作曲科教育研究助手を務めた後、現在は同大学作曲科及びソルフェージュ科非常勤講師として後進の指導を行っている。

◆教科「音楽」の指導における、和声及びソルフェージュの専門性の活用

日本では義務教育の下、9年間にわたり平等に音楽教育を受けられる教育環境を持ちながら、楽譜を読めない大人が多く存在し、最近では専門教育機関である音楽大学でさえも学生の楽譜の読み書きをはじめとした音楽の基礎能力の低下が頻りに指摘されるようになった。そこには教科音楽教育の抱える問題が大きく関係していることは明白である。今回の発表では、日本における専門的なソルフェージュ及び和声教育の歴史的観点から、西洋音楽の本質である五線記譜法を理解するために効果的な指導を、どのように教科音楽教育に取り入れていく可能性があるかを提案する。

入場料無料

なお、正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。

一般 1,000 円、学生 500 円、賛助会員(個人)500 円

問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567

E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

http://www.ni-sol-ken.com/index.html

Homepage



facebook

